

アリストロキネン合成酵素

Cat. No. EXWM-5253

Lot. No. (See product label)

はじめに

概要 最初の内部環化は単環中間体であるゲルマクレーンAを生成します。さらに環化とメチル転移が中間体をアリストロキエンに交換します。一部の種では、ゲルマクレーンAは酵素結合中間体として残りますが、*Penicillium roqueforti*における反の副産物であることが示されています（EC 4.2.3.23、ゲルマクレーン-Aシンターゼも参照）。*Penicillium roqueforti*の酵素はMg²⁺を必要とします。Mn²⁺は低濃度で部分的に代替可能です。アリストロキエンは、糸状菌によって生成されるいくつかのセスキテルペンの親化合物である可能性が高いです。

別名 セスキテルペンシクラーゼ; トランス,トランス-ファルネシル二リン酸アリストロキエン-リアーゼ; トランス,トランス-ファルネシル-二リン酸二リン酸-リアーゼ (環化, アリストロキエン形成)

製品情報

形態 液体または凍結乾燥粉末

EC番号 EC 4.2.3.9

CAS登録番号 94185-89-4

反応 (2E,6E)-ファルネシル二リン酸 = アリストロキエン + 二リン酸

備考 このアイテムはカスタム生産が必要で、リードタイムは5~9週間です。ご要望に応じてカスタム生産が可能です。

保管・発送情報

保存方法 短期間は +4 °C で保管してください。長期間保管する場合は -20 °C~-80 °C で保管してください。